

沿岸漁海況調査

昭和50年度


山本達雄・野沢正俊・西田輝己

は し が き

沿岸漁業の操業の効率化を図るため、沿岸海洋観測（水深100m以浅）、県内及び県外の漁況を収集し、海況変化、資源変動及び漁場形成要因の究明をする。

調 査 方 法

1 海況調査

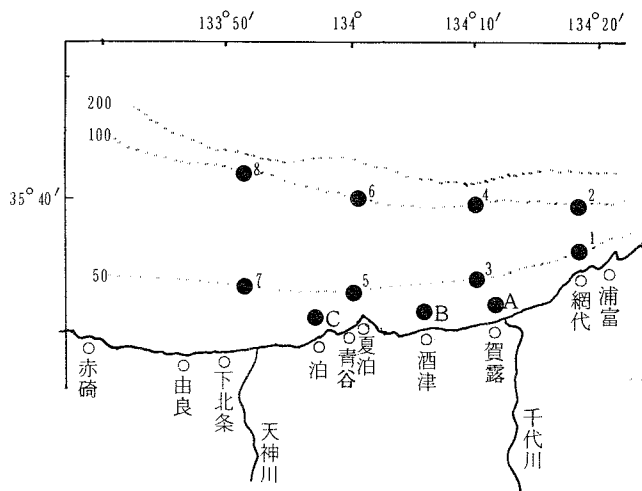
- (1) 調査船 第二鳥取丸（FRP1787トン D160馬力）
- (2) 観測定点 図1
- (3) 調査項目
気象：天候 気温 風向 風力 気圧
海象：海深 水温 塩分 ウネリ 透明度 潮目 波向 波浪
（水温・塩分の観測層：0 10 20 30 50 75 100m）
稚魚採集： ネット 0.5kt 10分曳
- (4) 実施概要 表1

2 漁況調査

県下の中核漁港である網代（東部）、泊（中部）及び赤碕（西部）の三漁業協同組合から毎旬魚種別及び漁業別漁獲量を収集した。

調 査 結 果

海洋観測の調査結果及び前述の県下三漁協から収集した漁況情報は、沿岸漁海況旬報として表-2のとおり関係機関へ配布した。



定点 N・E	1	2	3	4	5	6	7	8	A	B	C
N	35°36'	35°40'	35°35'	35°39'	35°34'	35°40'	35°34'	35°41'	35°33'	35°32'	35°31'
E	134°17'	134°17'	134°10'	134°10'	134°00'	134°00'	133°52'	133°52'	134°11'	134°05'	133°56'

図1 海洋観測定点

表1 海洋観測実施概要

調査年月日	調査船	測点数	欠測定数	備考
昭和50年4月7日、14日	第二鳥取丸	11	0	st 1~8の水温・塩分は水深30m以深欠測
5月7日、8日		11	0	
6月2日、3日		11	0	
7月9日、10日		11	0	
7月30日、8月1日		11	0	
9月1日、2日		11	0	
10月2日、6日		11	0	
昭和51年3月9日、10日		11	0	

表2 沿岸漁海況旬報の配布日・配布先

旬報配布年月日				配布先	対象魚種
年月	上旬	中旬	下旬		
昭和50年					
4月	4月18日	5月14日	5月14日	県漁連、県漁連境支所、水産	スルメイカ(沿岸)、ブ
5月	5月27日	5月28日	6月13日	課、水産事務所、中国四国農	ドウイカ(ケンサキイカ)、
6月	6月25日	7月5日	7月11日	政局鳥取統計情報事務所、県	ソデイカ、ハマチ、トビ
7月	7月22日	8月5日	8月11日	水試境分場、兵庫県水試但馬	ウオ、シイラ、タイ、キ
8月	8月21日	8月27日	9月9日	分場、京都府水試、島根水試、	ス、ヒラメ、メバル等
9月	9月22日	10月3日	10月15日	東、浦富、田後、網代、福部、	
10月	10月20日	10月31日	11月9日	賀露、酒ノ津、青谷、夏泊、	
11月	11月17日	11月27日	12月15日	泊、赤碕、御来屋、淀江、弓	
12月	12月24日	51年 1月5日	1月12日	北、米子の各漁協	
1月	1月23日	2月10日	2月10日		
2月	2月19日	3月9日	3月9日		
3月	3月23日	4月15日	4月15日		

1 海況

特徴：昇温期となった4月以降、表層(水深0m)、中層(水深50m)及び下層(水深100m)とも低目に推移したが、表層は6月以降急速に回復し、最近では高目に推移した“昭和48年並み”となった。中層及び下層は7月以降にやや回復がみられた。東部海域では8月に低温水の出現がみられた。

塩分は、各層とも6月までは低かんで推移したが、中層及び下層は7月以降“昨年並み”が“昨年より高かん”に推移した。表層は7月以降も低かんに推移し、8～10月は32%で特にこの現象が顕著であった。

推移

4月：水温は上昇期を迎え、表層は12.5～14.3℃となっている。塩分は、表層が33.29～34.63%となっている。水温は“昨年並み”か“やや低目”となっているが、中旬には14℃台となり暖流勢力の漸増傾向がうかがわれる。

5月：水温は、表層が15.2～16.7℃、中層が13.83～14.50℃及び下層が12.54～13.91℃となっている。表層は前回観測時より1.5～2.5℃高目となり、沿岸域(水深50m海域)が沖合域(水深100m域)よりやや高目である。塩分は表層が33.60～34.53%、中層が34.48～34.59%及び下層が34.45～34.59%となっている。昨年同期と比較すると、水温は各層とも“昨年並み”か“やや低目”となっている。塩分は沿岸域の表層がかなり低かんであったのをはじめとして各層とも低かんとなっている。

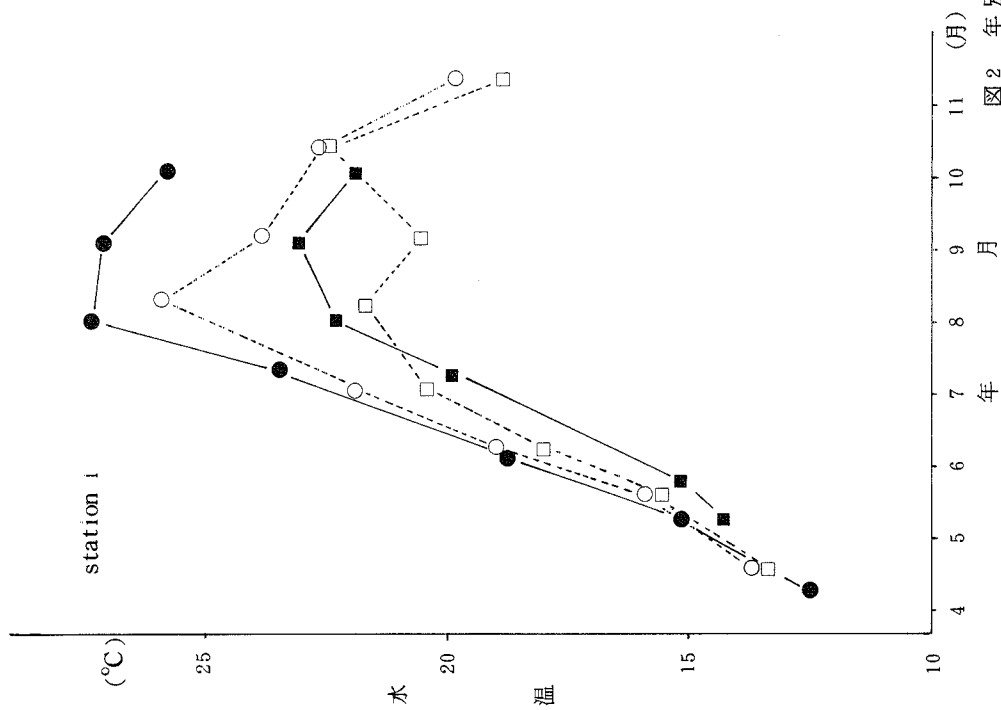
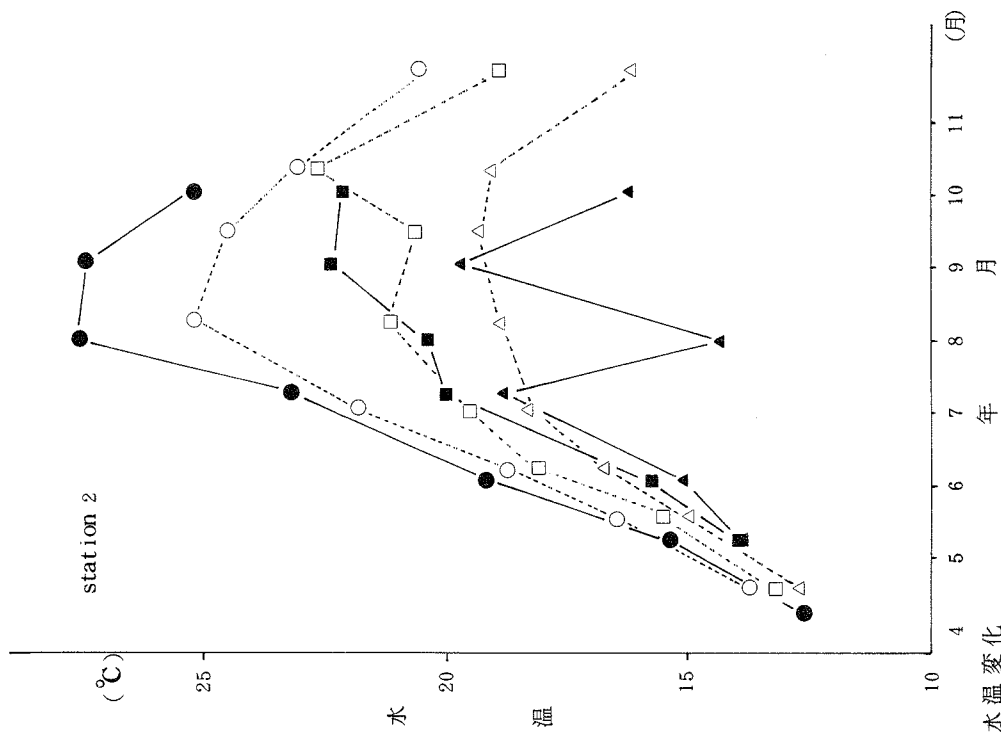


図2 年別・月別水温変化

(●○:水深0m ■□:水深50m ▲△:水深100m)
 (—:昭和49年 - - - - -:昭和50年)

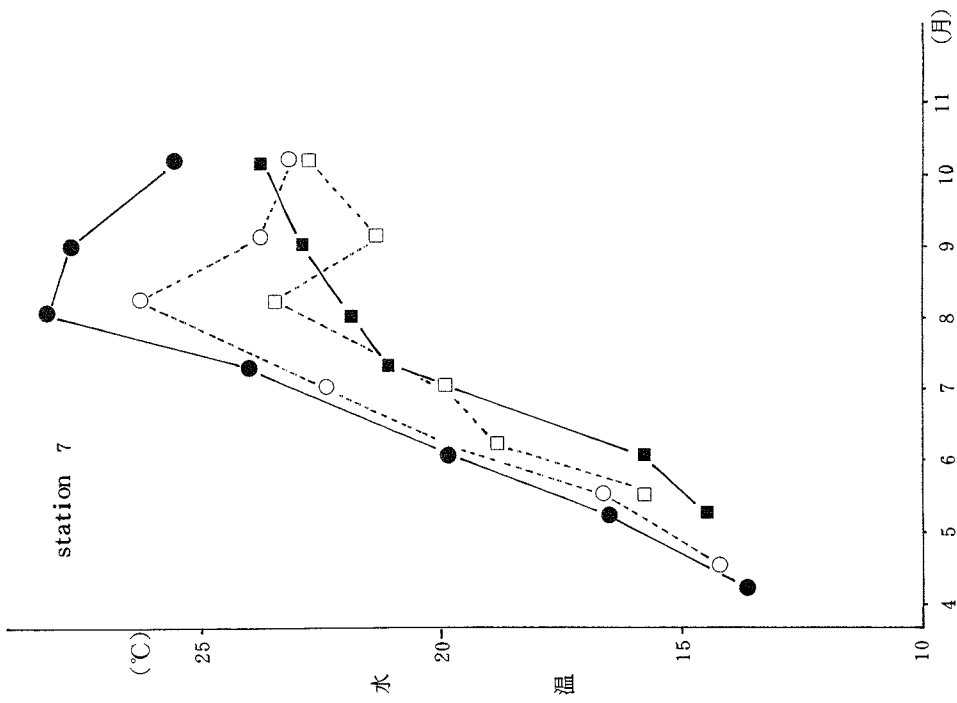
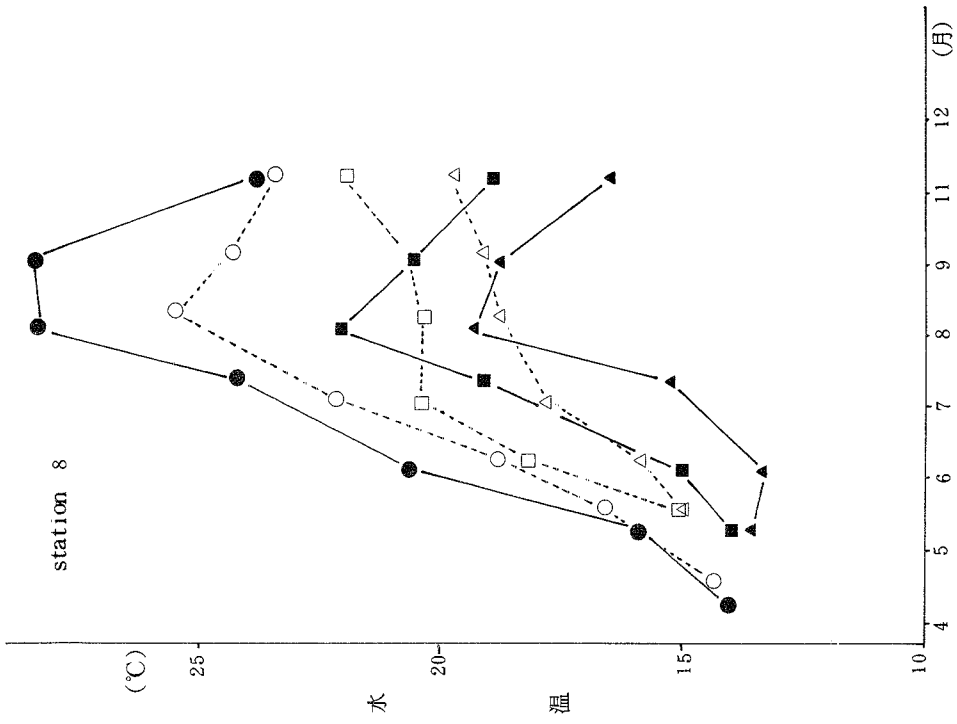


図8 年別・月別水温変化

(● : 水深 0 m ■ □ : 水深 50 m ▲ △ : 水深 100 m)
 (———— : 昭和 50 年 - - - - - : 昭和 49 年)

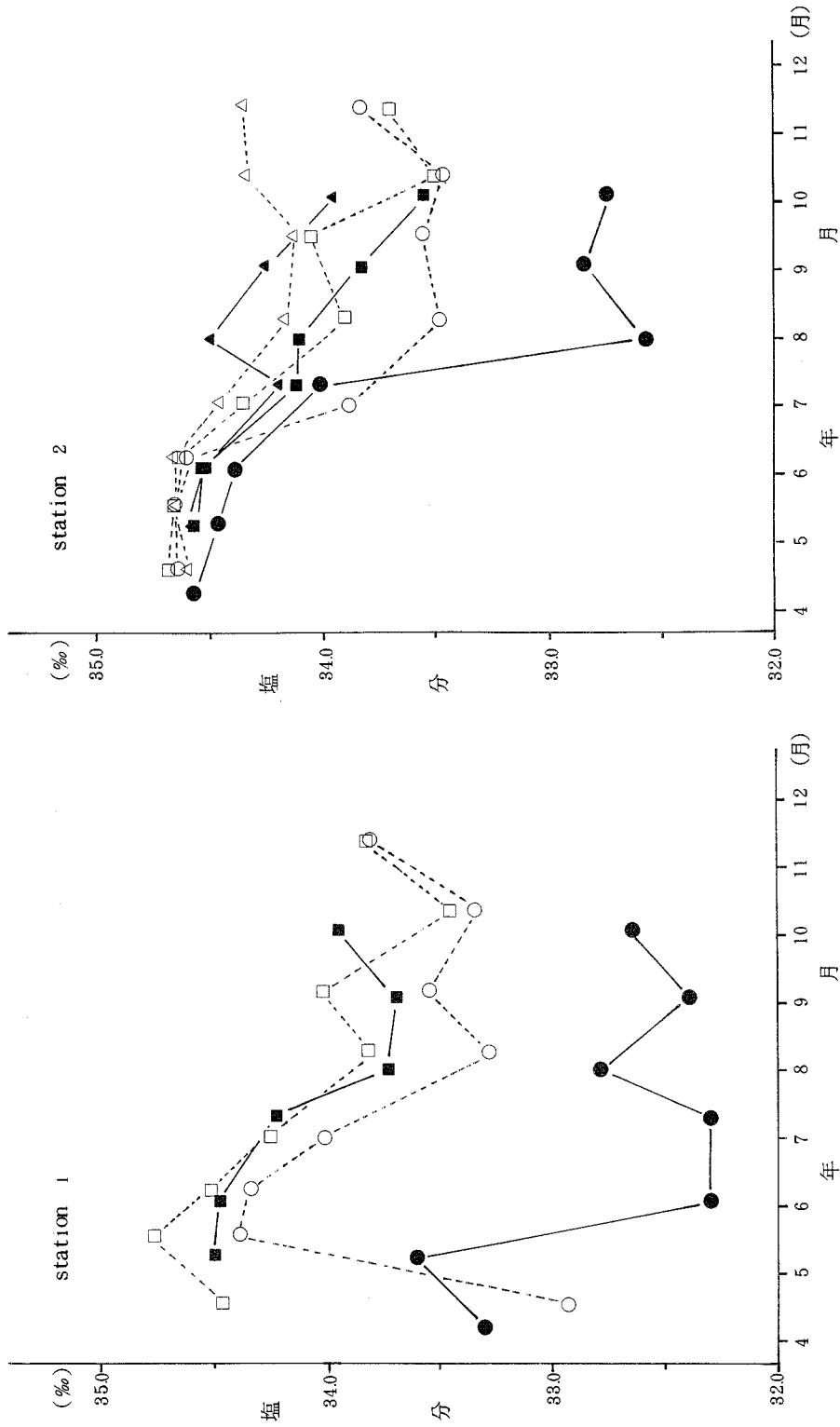


図4 年別・月別塩分変化

(● ○ : 水深0 m ■ □ : 水深50 m ▲ △ : 水深100 m)
 (——— : 昭和50年 - - - - - : 昭和49年)

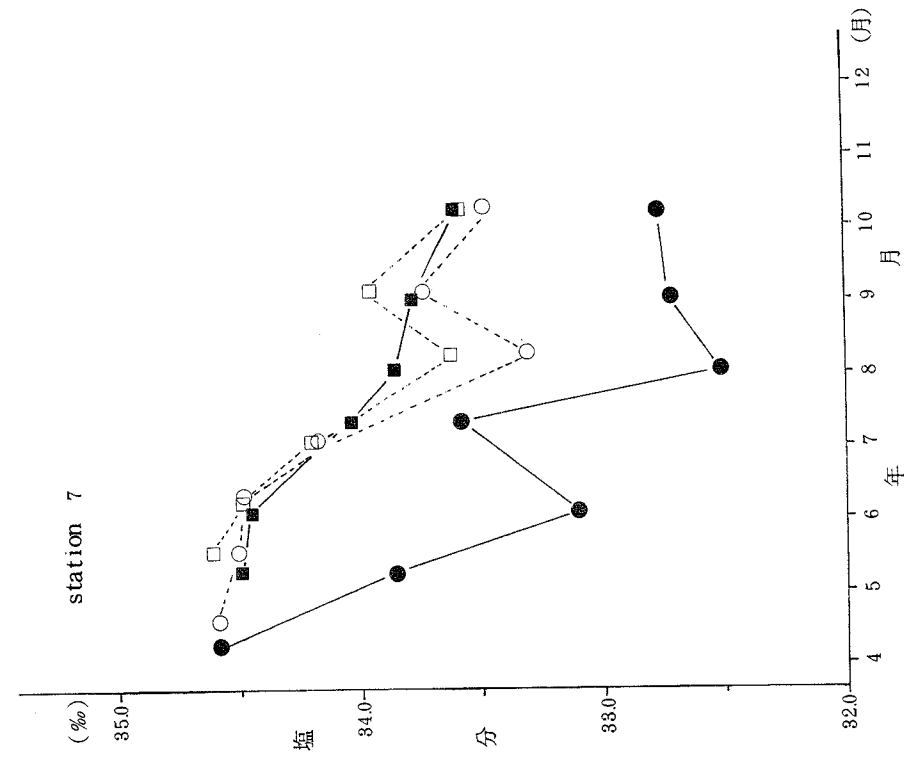
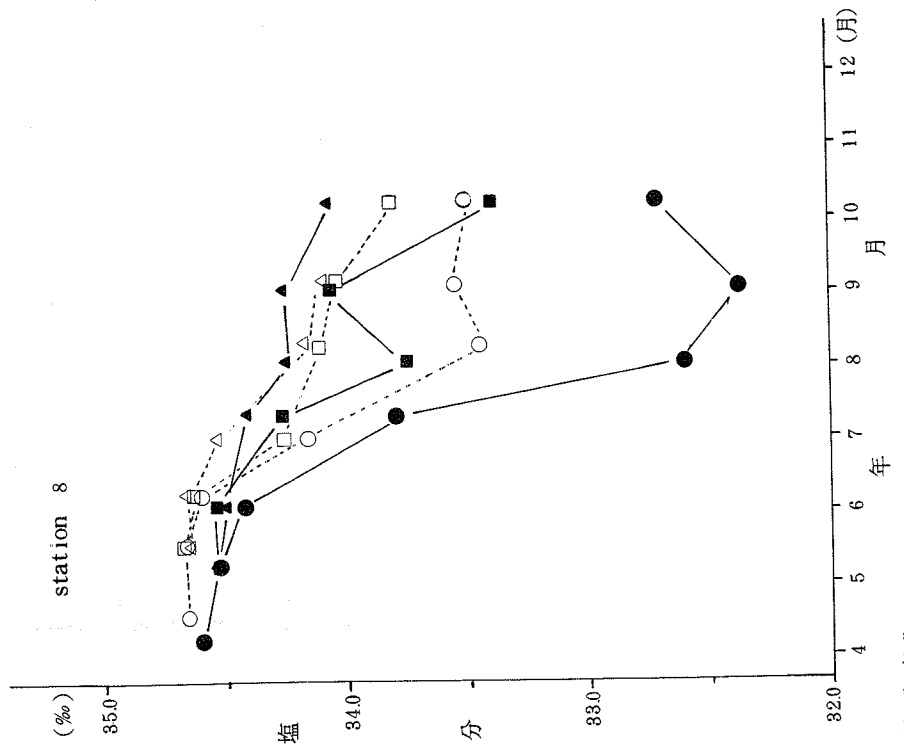


図5 年別・月別塩分変化

(● : 水深 0 m ■ : 水深 50 m ▲ : 水深 100 m)
 (— : 昭和 50 年 - - - : 昭和 49 年)

6月：水温は表層が18.8～20.6℃、中層が15.03～15.78℃及び下層が13.27～15.08℃となっている。前回観測時に比べて、表層は約3.5℃、中層は1.5℃、下層もst 8を除いて1.5℃高目となっている。水平的には表層及び下層が東部(st 1～4)が西部(st 5～8)より高目となっている。昨年同期と比較すると、表層は“昨年並み”か“やや高目”と回復がみられるが、中層及び下層は“かなり低目”となっている。特に、中層は昭和39年以降では最低を示している。塩分は表層が32.81～34.43‰、中層が34.46～34.54‰及び下層が34.50～34.54‰となっている。昨年同期と比べると、表層の沿岸域は、降雨による陸水の影響をうけて“かなり低かん”となっている。

7月：前月の表層に続き、中層及び下層の水温も回復がみられる。水温は表層が23.20～24.60℃、中層が19.14～21.03℃及び下層が15.27～18.84℃となっている。前回観測時と比べて、表層が約4.0℃、中層が4.0～5.0℃及び下層が2.0～3.5℃高目である。水平的には表層及び中層は東部が低目、下層は東部が低目となっている。塩分は表層が33.31～33.98‰、中層が34.05～34.26‰及び下層が34.26～34.45‰となっている。前月低かんを示した網代沖と下北条沖の表層は回復している。昨年同期と比較すると水温は表層が1～2℃高目であり、中層は東部の沿岸域及び西部の沖合域が低目、東部の沖合域及び西部の沿岸域は高目となっている。下層は東部はやや高目となっているが、西部はかなり低目となっている。塩分は表層は依然としてかなり低かんであるが、中層及び下層は昨年並みに回復している。透明度は14～18である。

8月：水温は表層が27.3～28.6℃、中層が20.44～22.26℃及び下層が14.25～19.27℃となっている。前回観測時に比べて、表層が4.0～4.5℃、中層が0.5～3.0℃高目で下層は東部は2.7～4.6℃低目、西部は3.8～4.0℃高目であり、東部の下層に低温水の出現がみられる。塩分は表層が32.51～32.78‰、中層が33.73～34.10‰及び下層が34.23～34.50‰となり各定点とも水深20mまでは3.2‰台であり低かん水におおわれている。昨年同期と比較すると、水温は表層が1.5～3.5℃高目で、中層は昨年並みであり、下層は東部は低温水の出現もあってかなり低目であるが、西部はやや高目となっている。塩分は表層が0.5～1.0‰とかなり低かんであるが、中層及び下層は昨年並みである。透明度は17～20である。

9月：水温は表層が27.10～28.50℃、中層が20.48～23.13℃及び18.79～19.74℃となっている。前回観測時に比べて、st 4及びst 8の表層はやや高目となっているほかは、0.2～0.5℃低目となっており年間最高水温期を過ぎ秋季型海況となっており年間最高水温期を過ぎ秋季型海況へ移行している。st 4及びst 8も年間最高水温期は過ぎたものの降温傾向が緩慢であるため、このような現象となったのであろう。中層は西部の沖合域を除いて高目となっており、下層はst 8が低目であるほかは高目に推移している。塩分は表層は32.27～32.91‰と依然として3.2‰台の低かん状態が継続している。中層は33.69～34.09‰及び下層は34.19～34.25‰となっている。前回観測時と比べると、各定点、各層により低かん、高かん域にバラツキがある。昨年同期と比較すると、水温は表層は2.5～4.0℃とかなり高目であり、中層は東部及び西部の沿岸域は1～2℃高目であり、下層及び西部の中層の沖合域で昨年並みとなっている。塩分は表層は0.7～1.2‰低かんである。透明度は17～27と海域によりかなり差がみられる。

10月：水温は表層が24.2～25.8℃、中層が18.88～23.36℃及び下層が15.82～16.54℃となっている。塩分は表層が32.42～32.77‰、中層が33.54～33.95‰及び下層が34.06～34.35‰となっている。前月観測時に比べて、水温は中層の一部を除いて低目となっている。昨年同期と比較すると、水温は依然として1～2℃高目であり、中層は“昨年並み”か“やや低目”、下層は3～4℃低目となっている。塩分は表層は依然としてかなり低かんで推移し、中層及び下層は高かんに推移している。透明度は13～17である。

3月：水温は表層が11.3～12.8℃、中層が11.00～12.30℃及び下層が11.04～11.37℃となっている。下北条沖を除いた海域では11℃台であり、また、各層ともほとんど温度産がなく鉛直混合は続いている。

2 漁 況

特徴：スルメイカ（沿岸）の春漁及び秋漁、ハマチの秋漁が好調であったほかは低調に推移した。特にシロイカ（ケンサキイカ、ブドウイカ）及びソデイカは全くの不振であった。

表3 各魚種の漁期中の漁獲量

単位：kg

		昭和50年度		昭和49年度		昭和47年～ 49年の平均		備 考
		総漁獲量	1隻当り 漁獲量	総漁獲量	1隻当り 漁獲量	総漁獲量	1隻当り 漁獲量	
シロイカ	東部	14,184	9	41,820	14	52,823	17	
	中部	7,772	7	12,264 (12,106)	8 (9)	27,828 (27,546)	14 (15)	()11月上旬 まで
	西部	44,850	24	72,522 (53,718)	29 (26)	60,254 (58,668)	21 (21)	()11月上旬 まで
シイラ	東部	28,510	361	50,070 (47,381)	849 (877)	449,198 (46,509)	610 (596)	()6月下旬は 含まず
	中部	38,677	187	34,661	200	34,180	203	
	西部	130,572	520	191,945 (188,882)	756 (759)	121,573 (118,510)	528 (529)	()6月下旬は 含まず
ハマチ	東部	1,940	10	—	—	—	—	
	中部	75,145	125	25,558	65	38,910	85	
	西部	131,420	267	39,696	144	54,743	174	
トビウオ	東部	34,057	226	50,773	391	54,838	382	
	中部	130,559	619	158,489	880	151,522	723	
スルメイカ	西部	394,449 (323,508)	139 (151)	346,803 (314,078)	99 (122)	244,183 (215,125)	81 (88)	()4月上旬～ 8月下旬まで

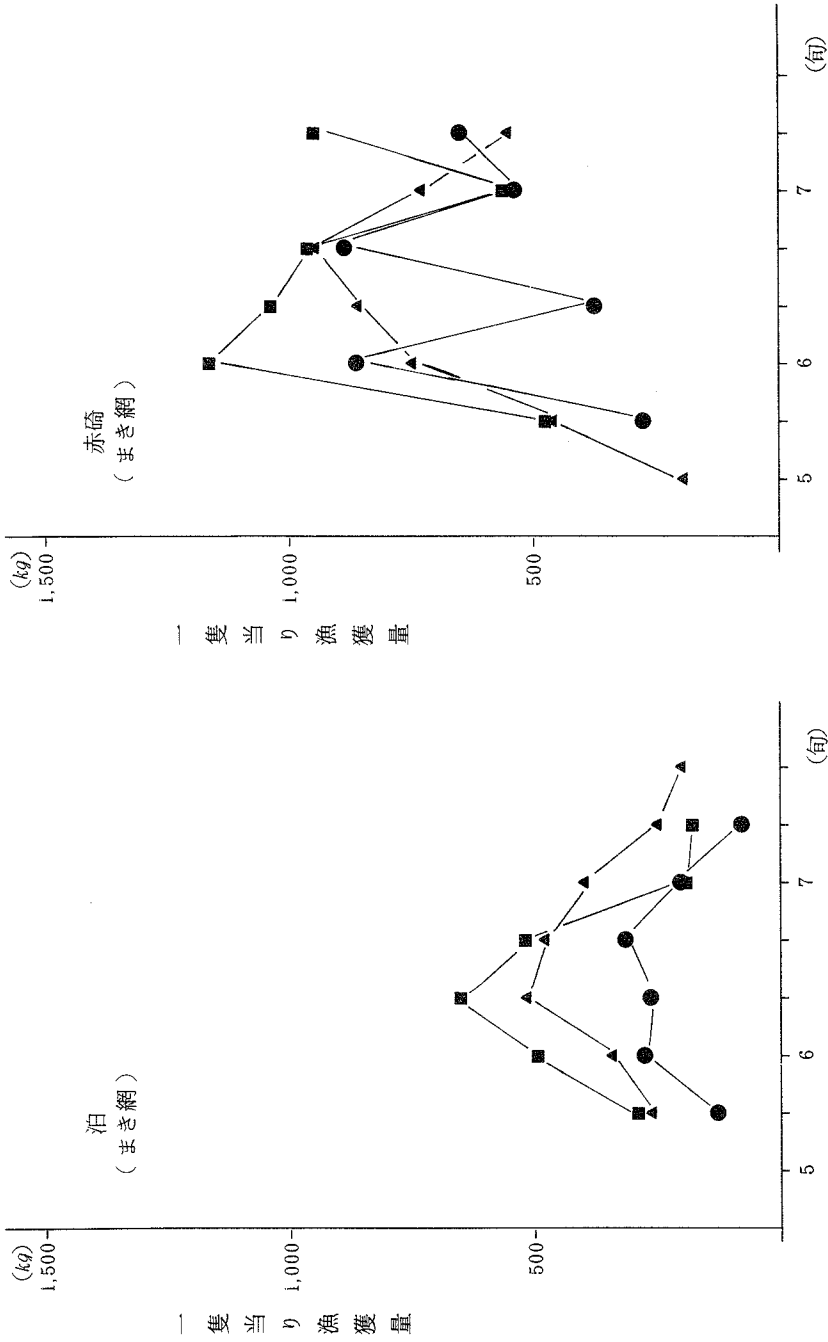


図6 トビウオの1隻当り漁獲量の年別・旬別変化

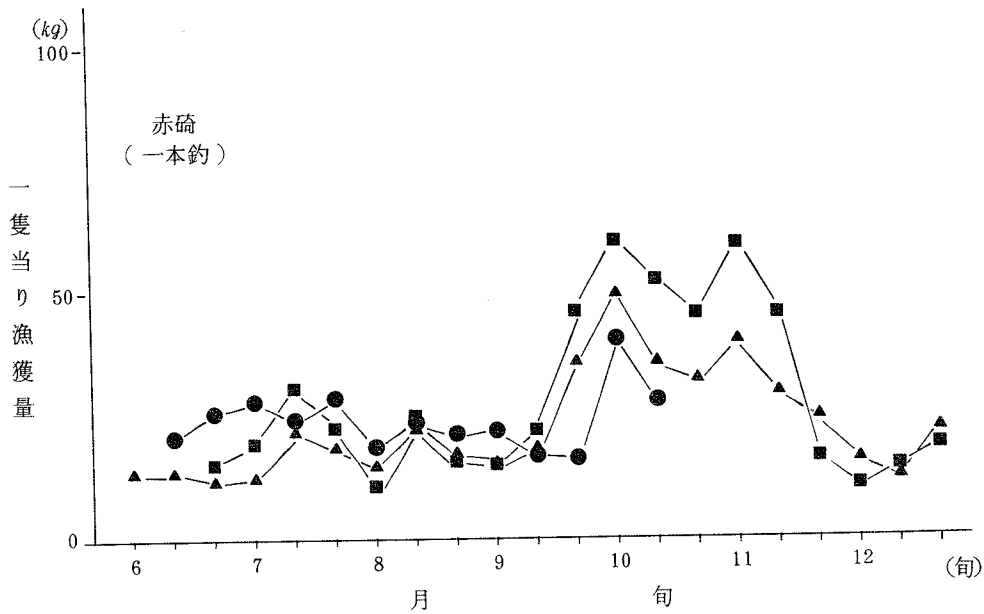
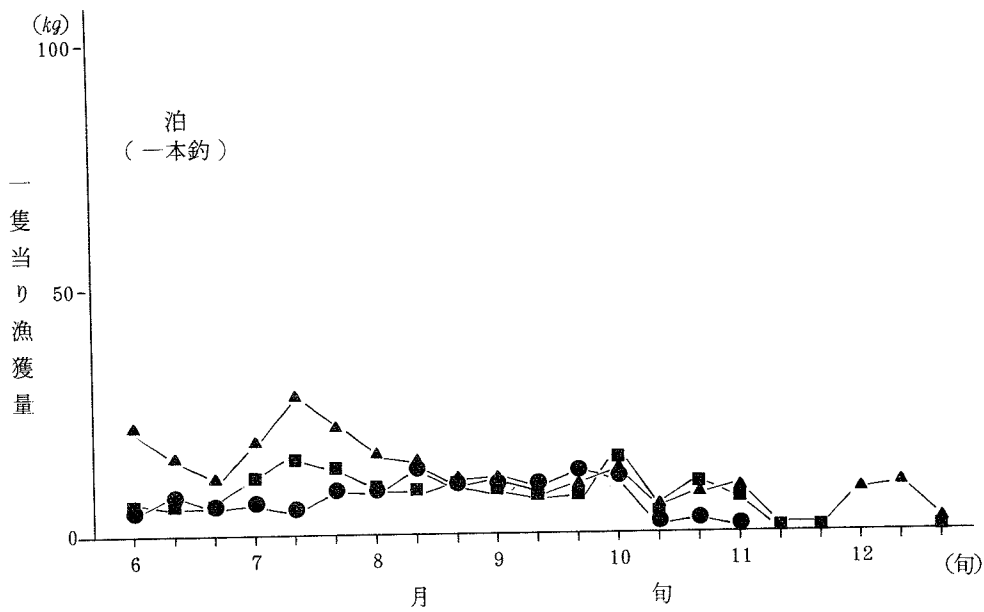
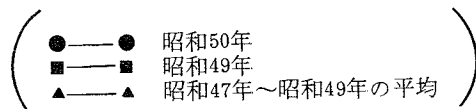


図7 シロイカの1隻当り漁獲量の年別・旬別変化



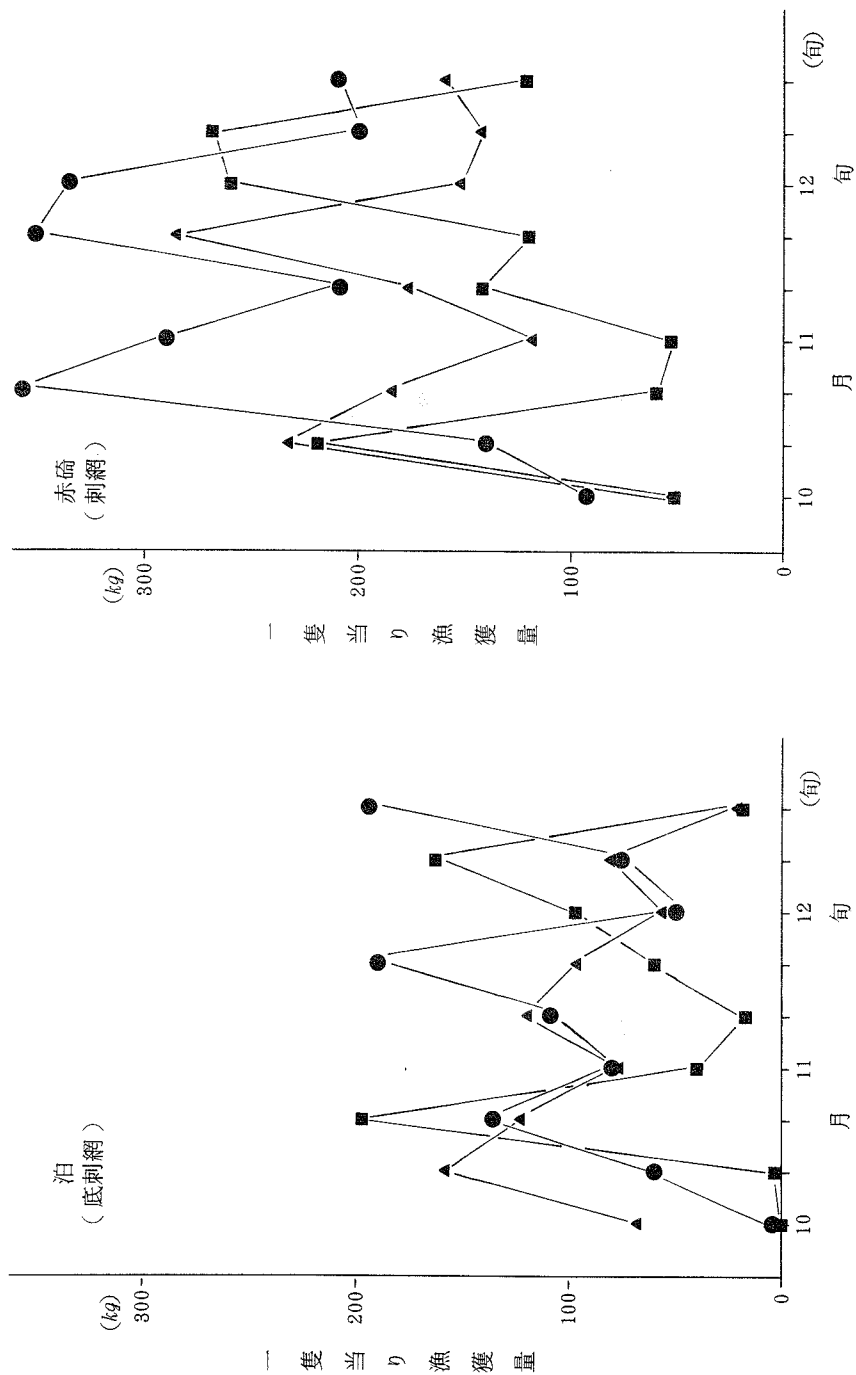


図8 ハマチの1隻当り漁獲量の年別・旬別変化

● 昭和50年
 ■ 昭和49年
 ▲ 昭和47年～昭和49年の平均

注) 泊の昭和47年～昭和49年の平均には特刺網も含む

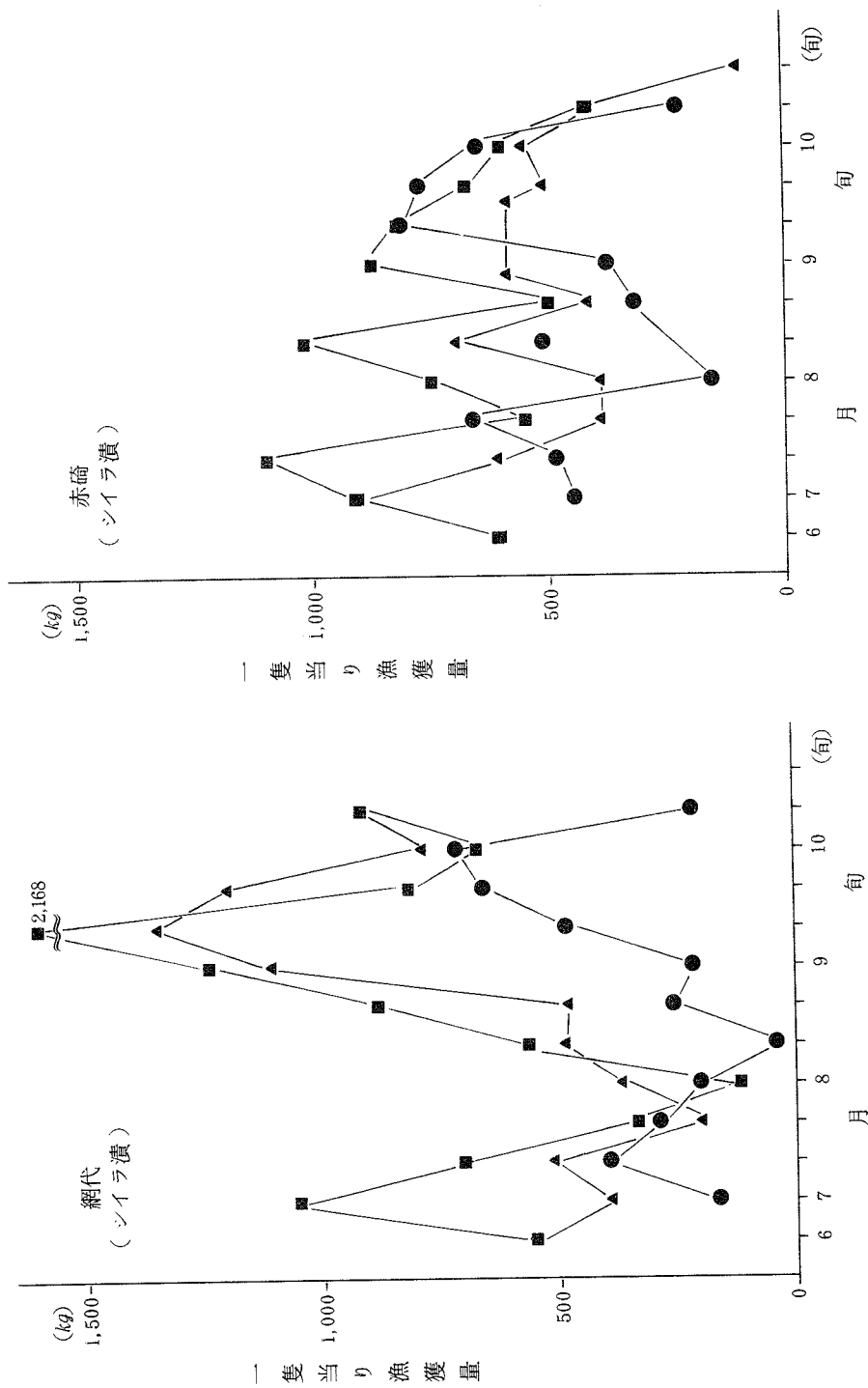


図9 シイラの1隻当り漁獲量の年別・旬別変化

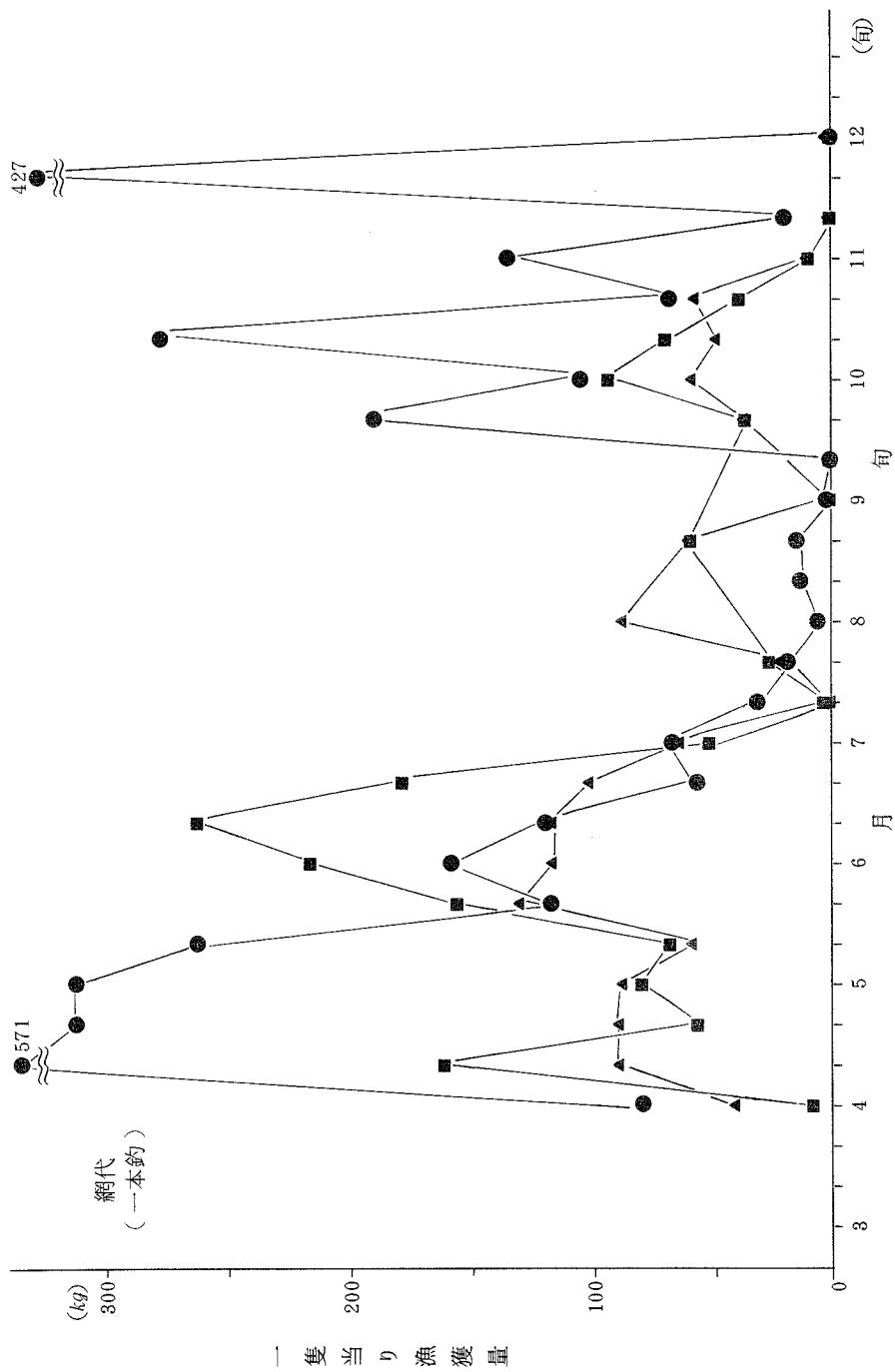


図10 スルメイカの1隻当り漁獲量の年別・旬別変化

推移

4月：東部はスルメイカ漁が活況を呈し、1隻当り漁獲量は79～571kとなっている。漁場は網代沖から隠岐島までの広範囲であるが主漁場は隠岐島周辺となっている。西部は中旬及び下旬にハマチ(一本釣)が1隻当り12～19k釣獲されているが、中部とともにタイ、メバル、ヒラメ等の底生魚主体となっている。

5月：東部のスルメイカは好漁を持続し、1隻当り116～313kを漁獲している。中部及び西部では、下旬にまき網によりトビウオ漁が始まったが、昨年同期の半分の漁獲量となっている。中部ではキスが1隻当り12～38kと好漁獲となっている。東部及び中部でシロイカの少量の漁獲がみられる。

6月：東部のスルメイカは漸減傾向を示し、1隻当り漁獲量は56～159kとなっている。中部及び西部のトビウオは盛漁期に入り、1隻当り漁獲量は、中部が265～314k、西部が372～882kと増加しているが、昨年同期と比べると減少している。シロイカは東部及び中部では低調であるが、西部では中旬あたりから漁獲がみられ1隻当り20～25kの漁獲量となっている。中部ではキスが1隻当り21～32kと安定した漁獲を持続している。

7月：各地区ともシイラ漁が始まり、東部及び西部は昨年より1旬遅れて下旬に、中部は2旬遅れて中旬に初漁がみられた。漁獲量は各地区とも低調で、東部及び西部は昨年の半分となっている。シロイカは県下全域で漁獲され、西部では1隻当り25～28kと好漁獲を示しているが、東部及び中部は低調である。トビウオは中部及び西部とも中旬で終漁し、漁期ははじめからの総漁獲量は両地区とも昨年の70～80%となっている。東部のスルメイカの1隻当り漁獲量は20～71kとなっている。

8月：夏枯れ期に入り漁況は低調となっている。シイラ漁が中心となっているが、漁獲量は少なく低調に推移している。シロイカは県下全域で漁獲されているが、7月と同じような漁況となっている。東部はスルメイカが量的には少ないが漁獲されている。中部ではハマチが狩刺網により1隻当り21～27k漁獲されている。

9月：シイラは各地区とも後半に入り多獲され、中部は中旬に1隻当り328k、西部も中旬に1隻当り808kの漁獲量を示し本年最高となっている。シロイカは1隻当り漁獲量は10～28kとなっており、東部及び中部はやや回復がみられたが、比較的好調に推移してきた西部では下旬に漁獲量の減少がみられた。ハマチは中旬から漁獲量が増加し、中部では狩刺網により1隻当り154～206k、西部では刺網により1隻当り58～146k漁獲されている。東部のスルメイカは下旬に1隻当り191kの漁獲を揚げ、秋漁を迎えている。ソデイカは全く漁獲されていない。

10月：シイラは各地区とも中旬で終漁となり、漁期後半にやや漁獲量の増加がみられたが、全般的には低調であった。ハマチは、中部は中旬に漁獲量の減少がみられたが、下旬には回復している。西部は中旬までは1隻当り100k前後の漁獲量であったが、下旬には1隻当り漁獲量は350kと急増している。シロイカは県下全域で低迷状態であり、西部では下旬あたりからハマチ漁への転換がみられる。東部はスルメイカが1隻当り68～277kと活況を呈している。ソデイカは下旬に東部で若干の漁獲がみられたが全くの不調である。

11月：東部はスルメイカ、中部及び西部はハマチ主体の漁況である。東部のスルメイカは好調に推移し中旬まで漁獲がみられたが、下旬にはハマチ漁へと転換している。ハマチは1隻当り漁獲量が、中部で92～192k及び西部で207～351kと豊漁となっている。シロイカは、東部及び中部で漁獲されているが低調な漁況である。ソデイカは東部で、カツオは東部及び中部で若干の漁獲があっただけで低調である。

12月：中部及び西部はハマチ漁主体であるが、漁獲量の日間差は大きくなり漸減している。東部は、上旬及び下旬にシロイカ、カツオが若干漁獲されている。

1月：各地区とも荒天のため出漁日数は減少しているが、ハマチは中部で1隻当り17k、西部で1隻当り93kの漁獲がみられる。

2月：東部では中旬あたりからスルメイカ（沿岸）の漁獲がみられ、1隻当り96kとなっている。中部は底刺網、桁網により、タイ、メイタガレイ、ヒラメ等の底生魚主体となっている。西部はタイ、メバルが1隻当り44～22k、ハマチが1隻当り132k漁獲されている。

3月：東部はスルメイカ主体の漁況で推移し、特に下旬には1隻当り774kの漁獲量となっている。中部はタイ、ヒラメ、メイタガレイ、メバル等の底生魚主体である。西部はタイ、メバル、メイタガレイ等の底生魚及びスルメイカを漁獲している。

No. _____

観測機関名 鳥取水試

観測線 _____

時期 1975年4月7日→4月14日

観測定点		1	2	3	4	5	6	7	8	
位置	N									
	E									
日時	分	7. 9:15	7. 9:45	14. 15:30	7. 10:26	14. 14:36	7. 11:37	7. 13:38	7. 12:53	
天候		B	B	C	B	C	B	BC	B	
気温		15.4	18.0	19.2	18.5	18.0	18.4	19.2	18.5	
風向	風力	SE 1	SE 1	S 1	S	S 1	SE 1	E 3	SE 2	
海深		50	100	50	100	50	100	50	100	
海流										
水色										
透明度		12	23	11	19	10	10	20	15	
波浪	階級	0	0	0	S 1	0		E 2	SE 1	
ウネリ		NW 1	NW 1	0	NW 1	0	NW 1	NW 1	NW 1	
PL	採集形式	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	
水 温 ($^{\circ}$ C)	基準 水深 (M)	0	12.5	13.6	14.3	13.5	14.1	14.0	13.7	14.1
		10	13.0	13.4	13.2	13.4	13.4	13.7	13.5	13.6
		20	12.8	13.0	13.3	13.4	13.5	13.7	13.4	13.6
		30	12.9	13.0	13.3	13.3	13.3	13.5	13.3	13.6
		50								
		75								
		100								
		150								
		200								
		300								
塩 素 量 (%)	基準 水深 (M)	0	33.285	34.573	34.129	34.578	34.634	34.599	34.589	34.596
		10	34.106	· 636	· 485	· 575	· 289	· 599	· 563	· 601
		20	· 146	· 573	· 493	· 593	· 485	· 612	· 574	· 609
		30	· 059	· 585	· 517	· 575	· 493	· 591	· 568	· 609
		50								
		75								
		100								
		150								
		200								
300										
PL: 排斥水量										

No.

観測機関名 鳥取水試

観測線

時期 1975年5月7日→5月8日

観測定点		1	2	3	4	5	6	7	8	
位置	N									
	E									
日時	分	7. 9:30	7. 10:21	7. 15:08	7. 11:28	7. 13:50	7. 12:47	8. 11:55	8. 13:10	
天候		BC	BC	B	B	B	B	BC	C	
气温		16.0	17.5	20.0	18.0	18.3	18.0	19.5	22.5	
風向	風力	S1	SE1	NE2	NW1	NW1	NW1	E2	E1	
海深		50	100	50	100	50	100	50	100	
海流										
水色										
透明度		12	10	10	15	10	11	7	9	
波浪	階級	S0	S0	NE1	NW1	NW1	NW1	E1	E	
ウネリ		NW2	NW0	NW1	NW1	NW1	NW1	—	—	
PL	採集形式	稚特	稚特	稚特	稚特	稚特	稚特	稚特	稚特	
水 温 ($^{\circ}$ C)	基準 水深 (M)	0	15.2	15.4	16.2	15.8	16.0	15.9	16.5	15.9
		10			4		2			
			14.91	14.69	14.84	14.79	14.92	14.72	15.11	14.64
		20	14.88	14.23	14.72	14.71	14.69	14.51	14.85	14.40
		30	14.74	14.01	14.70	13.96	14.79	14.47	14.70	14.08
		50	14.29	13.96	14.39	13.83	14.20	13.98	14.50	13.98
		75		13.97		13.81		13.88		13.78
		100		13.91		13.79		12.54		13.55
		150								
		200								
300										
塩 素 量 ($\%$)	基準 水深 (M)	0	33.601	34.456	33.639	34.458	34.140	34.450	33.847	34.532
		10	34.222	.449	34.390	.454	.253	.429	34.239	.513
		20	.331	.527	.433	.449	.406	.445	.391	.501
		30	.406	.573	.437	.540	.429	.508	.458	.497
		50	.496	.574	.480	.591	.527	.586	.493	.528
		75		.574		.587		.591		.583
		100		.578		.591		.449		.544
		150								
		200								
		300								
PL	排斥水量									

No. _____

観測機関名 鳥取水試

観測線

時期 1975年6月2日→6月3日

観測定点		1	2	3	4	5	6	7	8	
位置	N									
	E									
日 時 分		2. 9:12	2. 9:59	2. 14:10	2. 11:00	2. 13:04	2. 12:05	3. 11:46	3. 13:16	
天 候		BC	BC	BC	BC	BC	BC	B	B	
気 温		19.0	21.0	23.0	22.0	23.5	22.0	21.5	22.5	
風 向 風 力		NE 1	NE 2	NE 2	NE 2	NE 2	NE 2	NE 1	NE 1	
海 深		50	100	50	100	50	100	50	100	
海 流										
水 色										
透 明 度		3	16	7	12	10	18	12	14	
波 浪 ・ 階 級		0	NE 1	NE 1	NE 1	NE 1	NE 1	0	0	
ウネリ		0	0	0	0	0	0	0	0	
PL・採集形式		稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	
水 温 (°C)	基 準 水 深 (M)	0	18.8	19.20	19.4	19.6	19.20	19.6	19.8	20.6
		10	18.3	18.46	18.3	18.56	18.20	18.43	16.9	18.39
		20	16.29	17.17	16.39	16.71	16.10	16.48	16.19	16.14
		30	15.86	16.34	15.74	15.76	15.76	16.03	15.83	16.37
		50	15.12	15.69	15.68	15.67	15.50	15.52	15.78	15.03
		75		15.07		15.15		14.98		14.99
		100		15.05		15.08		14.94		13.27
		150								
		200								
		300								
塩 素 量 (‰)	基 準 水 深 (M)	0	32.309	34.294	33.769	33.992	33.479	34.360	33.095	34.427
		10	33.718	.290	34.024	34.169	34.406	.351	34.450	.389
		20	34.430	.517	.443	.489	.446	.496	.463	.370
		30	.448	.509	.468	.481	.441	.492	.455	.440
		50	.474	.537	.460	.524	.482	.522	.459	.542
		75		.541		.521		.531		.577
		100		.533		.528		.527		.495
		150								
		200								
		300								
PL・排斥水量										

No.

観測機関名 鳥取水試

観測線

時期 1975年7月9日→7月10日

観測定点		1	2	3	4	5	6	7	8	
位置	N									
	E									
日時分		9. 8:55	9. 12:35	9. 14:37	9. 13:36	10.	10. 14:35	10. 12:24	10. 13:24	
天候		C	BC	BC	BC	C	C	C	C	
気温		23.4	23.5	23.8	23.8	25.4	26.5	26.7	26.4	
風向風力		SE 1	NE 3	NE 3	NE 2	S 2	SE 2	SSW 3	S 2	
海深		50	100	50	100	50	100	50	100	
海流										
水色										
透明度		14	16	18	18	16	18	16	18	
波浪・階級		0	NE 2	NE 2	NE 1	S 1	SE 1	SSW 2	S 1	
ウネリ		NW 1	NW 1	NW 1	NW 1	NE 1	N 1	NE 1	NE 1	
PL 採集形式		稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	
水 温 ($^{\circ}$ C)	基準 水深 (M)	0	23.5	23.2	23.8	23.4	24.2	24.6	23.9	24.2
		10	22.6	21.94	23.2	22.16	23.8	22.73	23.6	22.62
		20	21.25	21.45	21.97	21.71	22.33	22.65	22.71	21.69
		30	20.39	20.43	21.04	21.04	22.19	21.95	22.59	20.59
		50	19.86	19.95	19.93	20.88	20.37	19.89	21.03	19.14
		75		18.90		19.39		18.91		18.29
		100		18.84		17.96		15.64		15.27
		150								
		200								
		300								
塩 素 量 (%)	基準 水深 (M)	0	33.306	33.982	33.341	33.857	33.306		33.575	33.778
		10	.892	.936	.599	.833	.559	33.615	.595	.747
		20	34.006	.959	.943	.916	.810	.708	.676	.869
		30	.155	34.143	34.069	34.014	.840	.971	.759	34.139
		50	.218	.214	.116	.151	34.092	34.194	34.049	.264
		75		.291		.241		.295		.807
		100		.287		.260		.448		.405
		150								
		200								
300										
PL 排斥水量										

No.

観測機関名 鳥取水試

観測線

時期 1975年7月30日→8月1日

観測定點		1	2	3	4	5	6	7	8	
位置	N									
	E									
日	時分	30. 8:40	30. 9:18	1. 15:32	30. 10:21	1. 10:12	1. 13:53	1. 11:24	1. 12:40	
天候		B	B	B	B	B	B	BC	B	
气温		25.8	28.4	30.6	29.4	29.3	30.4	30.2	30.1	
風向	風力	SE1	SE1	SW3	SW4	NE	S1	SW3	SW2	
海深		50	100	50	100	50	100	50	100	
海流										
水色										
透明度		17	17	17	19	17	17	19	20	
波浪	階級	0	SE1	SW3	SW2	0	0	SW2	SW1	
ウネ	リ	N1	0	SW2	SW1	0	0	SW1	0	
PL	採集形式	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	
水 温 (C)	基準水深 (M)	0	27.3	27.6	28.4	27.8	28.3	28.6	28.1	28.3
		10	27.1	26.76	27.9	27.25	27.8	27.11	27.3	27.21
		20	25.85	25.21	27.24	24.87	25.78	26.68	25.82	26.29
		30	25.08	23.76	24.26	23.82	24.08	25.79	24.55	25.54
		50	22.26	20.44	21.60	21.40	21.45	21.98	21.80	22.08
		75		17.49		17.79		20.01		20.22
		100		14.25		15.22		19.17		19.27
		150								
		200								
		300								
塩 素 量 (%)	基準水深 (M)	0	32.776	32.565	32.556	32.568	32.498	32.529	32.506	32.615
		10	.889	.565	.583	.518	.518	.646	.587	.611
		20	33.011	.998	.677	.837	.748	.825	.814	.755
		30	.104	33.379	33.157	33.273	33.300	.954	33.161	—
		50	.731	34.099	.918	.890	.914	33.780	.847	32.753
		75		.353		34.320		34.161		34.137
		100		.498		.466		.262		.234
		150								
		200								
		300								
PL 排斥水量										

No

観測機関名 鳥取水試

観測線

時期 1975年9月1日→9月2日

観測定点		1	2	3	4	5	6	7	8	
位置	N									
	E									
日時	分	2. 8:30	2. 9:15	2. 12:35	2. 10:26	1. 10:15	1. 14:21	1. 11:30	1.	
天候		BC	BC	B	B	B	BC	BC	BC	
気温		27.8	27.6	28.8	28.2	27.6	28.7	27.8	28.8	
風向	風力	S1	SE1	NE1	S1	S1	N1	N2	N1	
海深		50	100	50	100	50	100	50	100	
海流										
水色										
透明度		19	26	17	25	25	27	23	26	
波浪	階級	0	0	0	0	0	0	N1	N1	
ウネリ		0	0	0	0	0	0	0	0	
PL	採集形式	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	
水 温 ($^{\circ}$ C)	基準 水深 (M)	0	27.1	27.4	27.9	28.1	27.8	28.2	27.6	28.5
		10	26.8	26.68	27.2	26.99	26.1	26.94	27.2	26.70
		20	25.36	26.32	24.88	26.00	25.17	26.34	26.07	26.25
		30	24.48	24.44	23.84	24.40	23.82	24.10	23.68	24.86
		50	23.08	22.43	23.13	22.25	22.75	20.48	22.75	20.55
		75		22.05		20.18		19.76		19.69
		100		19.74		19.53		19.36		18.79
		150								
		200								
		300								
塩 素 量 (%)	基準 水深 (M)	0	32.394	32.833	32.448	32.906	32.329	32.860	32.721	32.274
		10	.717	.931	.673	.878	.685	.852	.818	.938
		20	33.165	33.048	33.242	33.066	33.192	.879	33.029	33.009
		30	.363	.514	.488	.463	.492	33.308	.652	.339
		50	.690	.834	.685	34.006	.765	34.094	.784	34.063
		75		.873		.131		.184		.176
		100		34.238		.190		.219		.250
		150								
		200								
300										
PL	排斥水量									

No.

観測機関名 鳥取水試

観測線

時期 1975年10月2日→10月6日

観測地点	1	2	3	4	5	6	7	8		
位置	N									
	E									
日時分	2. 8:30	2. 10:20	2. 12:45	2. 11:10	6. 13:16	6. 9:40	6. 12:15	6. 11:00		
天候	C	C	R	R	BC	C	C	BC		
气温	21.8	21.4	20.3	22.4	23.2		23.6	22.4		
風向風力	SE 2	SE 2	S 1	SE 1	E 1	NE 3	NE 1	NE 2		
海深	50	100	50	100	50	100	50	100		
海流										
水色										
透明度	15	15	13	14	15	16	13	17		
波浪・階級	SE 1	SE 1	0	0	0	NE 2	0	NE 1		
ウネリ	NE 1	NE 1	NE 1	NE 1	N 1	N 1	NE 1	N 1		
PL採集形式	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特		
水 温 (°C)	基準水深 (M)	0	25.8	25.1	25.5	24.8	24.9	24.2	24.9	24.4
		10	25.7	25.02	25.4	24.84	24.6	24.1	24.6	23.95
		20	25.03	24.04	25.26	24.80	24.17	24.1	24.08	24.93
		30	24.29	25.03	24.60	24.81	23.51	23.41	24.17	24.63
		50	21.92	22.15	21.93	19.96	23.36	22.04	23.60	18.88
		75		17.64		17.60		17.01		17.39
		100		16.23		15.94		15.82		16.54
		150								
		200								
		300								
塩 素 量 (%)	基準水深 (M)	0	32.662	32.732	32.425	32.591	32.490	32.583	32.767	32.705
		10	.755	.810	.736	.717	.560	.572	.763	.689
		20	.763	.802	.837	.725	—	.619	.744	.717
		30	33.690	.806	.845	.732	33.565	33.577	33.199	33.678
		50	.941	33.542	33.953	33.918	.682	.910	.597	.878
		75		34.192		34.165		34.239		34.063
		100		.332		.348		.340		.172
		150								
		200								
		300								
PL・排斥水量										

No.

観測機関名 鳥取水試

観測線

時期 1976年3月9日→3月10日

観測定点		1	2	3	4	5	6	7	8	
位置	N									
	E									
日時分		9. 8:50	9. 9:35	9. 13:26	9. 10:40	10. 10:20	9. 11:59	10. 11:37	10. 12:40	
天候		C	C	C	C	C	C	C	C	
気温		11.1	11.3	12.1	11.2	12.2	12.5	11.5	11.0	
風向風力		S1	S1	SE1	SSW3	NE1	S1	NE3	NE2	
海深		50	100	50	100	50	100	50	100	
海流										
水色										
透明度		11	20	13	19	13	21	18	21	
波浪・階級		S1	S1	0	SSW2	NE1	S1	NE2	NE2	
ウネリ		—	NE1	0	NE1	NE1	NE1	NE1	NE1	
PL採集形式		稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	稚 特	
水 温 ($^{\circ}$ C)	基準水深 (M)	0	11.3	11.4	11.2	11.5	11.6	11.8	11.6	12.8
		10	11.6	11.04	11.8	11.02	11.7	11.51	12.1	12.35
		20	11.32	11.05	11.31	11.03	11.42	11.60	12.08	12.30
		30	11.41	11.00	11.46	10.91	11.44	11.62	12.11	12.30
		50	11.41	11.08	11.48	11.00	11.41	11.50	11.62	12.30
		75		11.33		11.05		11.42		11.77
		100		11.42		11.04		11.40		11.37
		150								
		200								
		300								
塩素量 ($\%$)	基準水深 (M)	0	32.330	34.143	33.225	34.123	33.404	34.229	33.736	34.389
		10	33.408	.123	34.108	.108	.753	.229	.943	.409
		20	34.076	.123	.163	.100	34.182	.241	34.326	.405
		30	.167	.120	.186	.092	.190	.252	.338	.364
		50	.182	.167	.198	.120	.194	.225	.264	.385
		75		.202		.127		.214		.272
		100		.210		.135		.210		.194
		150								
		200								
300										
PL 排斥水量										